

**新型コロナウイルス感染症に係る**  
**ヤンバルクイナカップ 第18回沖縄県小学生駅伝競走大会**  
**大会実施ガイドライン**

令和2年6月26日(金)

改正 令和4年8月26日(金)

「沖縄県の対処方針」及び令和3年4月1日付け、(一社)沖縄陸上競技協会策定の「競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止の為、ヤンバルクイナカップ 第18回沖縄県小学生駅伝競走大会の大会実施におけるガイドラインを作成し、大会を実施する。

**【大会の運営方法】**

- ①大会に参加する学校・クラブチームの監督(代表者等)は、チーム全員分の体調管理チェックシートを集め、大会当日に主催者に提出する。
- ②新型コロナウイルス感染症の状況次第で、閉会式・表彰式を行わない。
- ③表彰式は行わない場合、表彰状及び記録証の発行は行い、用意が出来上がり次第放送するので、各チームの監督(代表者等)が大会本部に受け取りに来る。
- ④3密を避けるため、記録表を掲示板に張り出さない。記録表は出来上がり次第放送するので各チームの監督(代表者等)が大会本部に受け取りに来る。
- ⑤かいぎんフィールド国頭(以下、「競技場」と記載)内及び各中継地点に消毒液を設置する。
- ⑥競技場内や競技中は3密・飛沫感染防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。(感染防止のため、各中継地点やスタンド・テント外でも同様の対応をとる。)隣との間隔を約2m以上開ける。
- ⑦競技者及び監督・引率者・保護者・競技役員は、大会当日、体調管理チェックリストの事項を確認し、該当する場合は、主催者へ報告を行い、参加を見合わせることにする。

**体調管理チェックリスト**

- (1) 発熱の症状がある方(37.5度以上)
- (2) 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状がある方
- (3) 頭痛がある方
- (4) だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)などの症状がある方
- (5) 嗅覚や味覚に異常を感じる方

- ⑧取得した個人情報は大会終了後、1カ月保管する。また、保管期間が過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに破棄を行う。
- ⑨今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、事前に提出いただいた参加申込書に記載されていない選手への変更も認める。

### 【競技者】

- ①大会当日は、体調確認を行い、体調不良等がある場合は、監督(代表者)必ず報告する。
- ②ウォーミングアップやダウンで室内トレーニングコース(45m)の使用は禁止とする。
- ③雨天の場合のみ、かいぎんインナーフィールド国頭(屋内運動場)でのウォーミングアップやダウンを許可する。
- ③競技場のトレーニング室・シャワールームの使用は禁止とする。
- ④大会中はマスク着用を推奨する。(競技中・ウォーミングアップ中・ダウン中は除く)
- ⑤競技終了後の入念な手洗い・うがいをする。
- ⑥大会中に唾や痰を吐く行為は行わない。また、タオルの共有はしない。
- ⑦弁当は、衛生面に注意し取り扱いについて十分注意する。マイカップ・マイ箸を使う、話しながら食べない。おかずなどをあげたりもらったりしない。コップの使い回しはしない。ごみは各チームで持ち帰る。

### 【監督・引率者・保護者】

- ①保護者はお子さんの体調を確認し、体調不良等がある場合、監督(代表者)に報告する。
- ②監督(代表者)は事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点を競技者に指導する。引率者・保護者等にも内容を伝える。
- ③大会中はマスク着用を推奨する。各中継地点・スタンド・芝生席では、間隔を約2m以上開ける。飛沫感染防止のため近距離での会話や大声での発声を避ける。また、タイム読みは控える。
- ④弁当については競技者と同様に対応する。ごみは各チームで持ち帰る。
- ⑤競技前後のミーティング等での3密を避ける。
- ⑥テントを張る場合は、3密を避けるように利用する。
- ⑦新型コロナウイルスの状況により、大会を中止にする場合があるので、(一社)沖縄陸上競技協会 HP 又は国頭村 HP で確認をお願いします。また、このほかに急を要する事が生じた場合も、同じく(一社)沖縄陸上競技協会 HP 又は国頭村 HP で確認をお願いします。
- ⑧大会参加料の納入について、予定通り開催するときは、開催当日に大会本部で受領します。
- ⑨大会開催前に選手が新型コロナウイルスに感染した場合、保健所より指定された解除日から数えて5日以上経過しているのであればその選手の参加を認める。
- ⑩大会終了後1週間以内に新型コロナウイルスに感染が確認された場合は、主催者に速やかに報告をお願いします。

### 【競技役員】

- ①大会中はマスク着用を推奨する。競技場所では、3密や近距離での会話、大声での発声を避ける。競技者・応援者等にも指導する。
- ②競技者にコール・指示するときはハンドマイク等を使用し大声を出さないようにする。
- ③役員の人数は、競技の状況によるが極力少数で行う。
- ④弁当について、競技者と同様に対応する。